

Part2 そのときどうする？相談事例から学ぶ難病対応

1. 産業保健の現場で対応に困るケース
2. 企業・組織が求める産業医を目指して👍
3. 質疑・感想・まとめ

1. 産業保健の現場で対応に困るケース

登場人物

- 産業医：O
- 会社・人事・採用担当：Z
- 学生・社員・入社選考者・内定者：A, B, C, D...

ケーススタディ

- 唯一の「正解」「模範解答」はない・誰も知らない前提で
- 知識・理解に基づいた対応力を身に着ける目的

1. 採用に意見を求められるケース

採用選考を担当しているZは

採用選考中の学生Aから採用面接の中で次のような自己申告を受けた：

- 潰瘍性大腸炎で治療中である
- 潰瘍性大腸炎は国指定の難病である

この件について、産業医Oは人事労務担当ZZから相談を受けた。

「難病と言われたのですが、採用しちゃってもいいでしょうか」

Q. 産業医としてどういう回答をしますか？

2. 入社前から診断・治療を受けていたケース

人事総務のZは入社内定者のB(26歳、中途入社)の雇入時健診の結果を受領した。既往歴として19歳から高安動脈炎でステロイド治療をしているとのこと。高安動脈炎を知らない人事のZは産業医Oに尋ねた。

「就業にあたって何か配慮しなければいけないことはあるでしょうか」

Q. 産業医としてどういう回答・対応をしますか？

3. 入社前から診断・治療を受けていたケース

人事総務のZは入社内定者C(22歳、新卒)の雇入時健診の結果を受領した。
既往歴として21歳から潰瘍性大腸炎で通院中とのこと。人事のZは産業医Oに尋ねた。

「就業にあたって何か配慮しなければいけないことはあるでしょうか」

Q. 産業医としてどういう回答・対応をしますか？

4. 入社前健診・定期健診・人間ドックが発見の契機になるケース

雑誌編集を業務にする40歳のDは人間ドックで眼底の異常を指摘された。精査の結果、網膜色素変性症と診断された。視力は矯正(0.4/0.4)。夜盲や視野狭窄はない。本人が上司に病気を申し出たところ、上司は対応について人事に相談。現時点で職務に影響は出てない様子だが、障害者に該当するかもしれないケースとの判断。会社として産業医との面談を設定した。面談にあたり産業医Oは会社人事Zから告げられた。
「法定雇用率を満たすため手帳が取得するよう、産業医から伝えてほしいのです」

Q. 産業医としてどういう回答・対応をしますか？

Q. 面談時に本人には何を確認・アドバイスしますか？

5. 入社後に増悪・休職。休職満了まで引きずるケース

20歳代前半男性E。クローン病。新卒入社・独居。

入社2年目の2月末から発熱と倦怠感が出現。正式な診断書なく欠勤を繰り返す。定期受診をおろそかにしているうちに、肛門周囲膿瘍が悪化。7月(3年目)に正式にクローン病と診断され、外科で切開排膿した。病変が肛門周囲から右大腿後部に及び、静坐困難で職場復帰できず。

9月中旬より正式に休職(休職上限6ヶ月)。翌年3月に休職満了を迎える段階で復職可能を診断書(主治医に頼んで作成してもらった)の提出。復職面談が設定された。

月に一度提出されている療養状況報告書、復職の面談にあたって記録させた行動生活表では、終日自宅でテレビや漫画を横になりながらみている。

Q. 産業医として面談で何を確認しますか？

Q. 上司・人事に助言できる・できたことはありますか？

6. 主治医からの診断書で就業上の配慮が必要と言われるケース

30歳代前半女性F。全身性ループスエリテマトーデスでステロイド内服中。5年来症状は安定していたが、最近悪化の徴候がありステロイドが増量された(5mg→10mg)。コロナウィルス感染症のため、電車での通勤や大勢がいるオフィスでは感染のリスクがあるという。「在宅勤務させること」という内容の診断書が提出された。診断書を受領した人事Zは対応に苦慮して、産業医Oに相談した。

Q. 産業医としてどういう回答・対応をしますか？

Q. 在宅勤務をさせたときに生じる問題にはどんなことがありますか？

2. 企業・組織が求める産業医を目指して👍

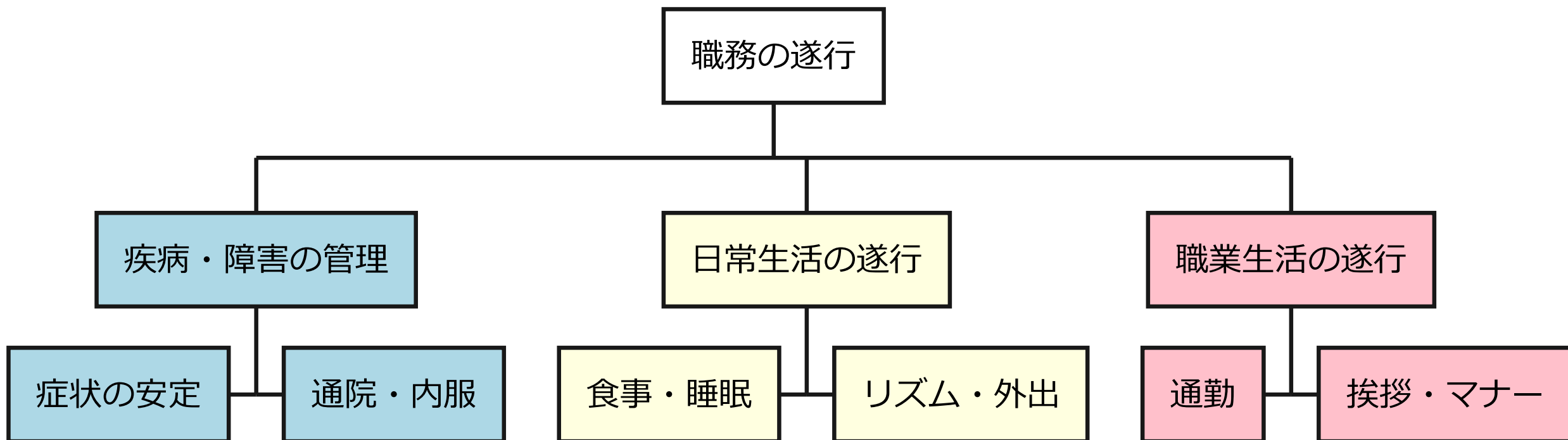
- 医師 339,623人(+3.8%, 2020年12月31日)
- 専属産業医 1,308人(+0.4%, 2020年12月31日)
1000人以上の事業所 968箇所(2012年)
- 104,715人(2021年3月31日) → **資格として自慢にならない笑**
- いずれ来る「医師が余る時代」。産業医も余る

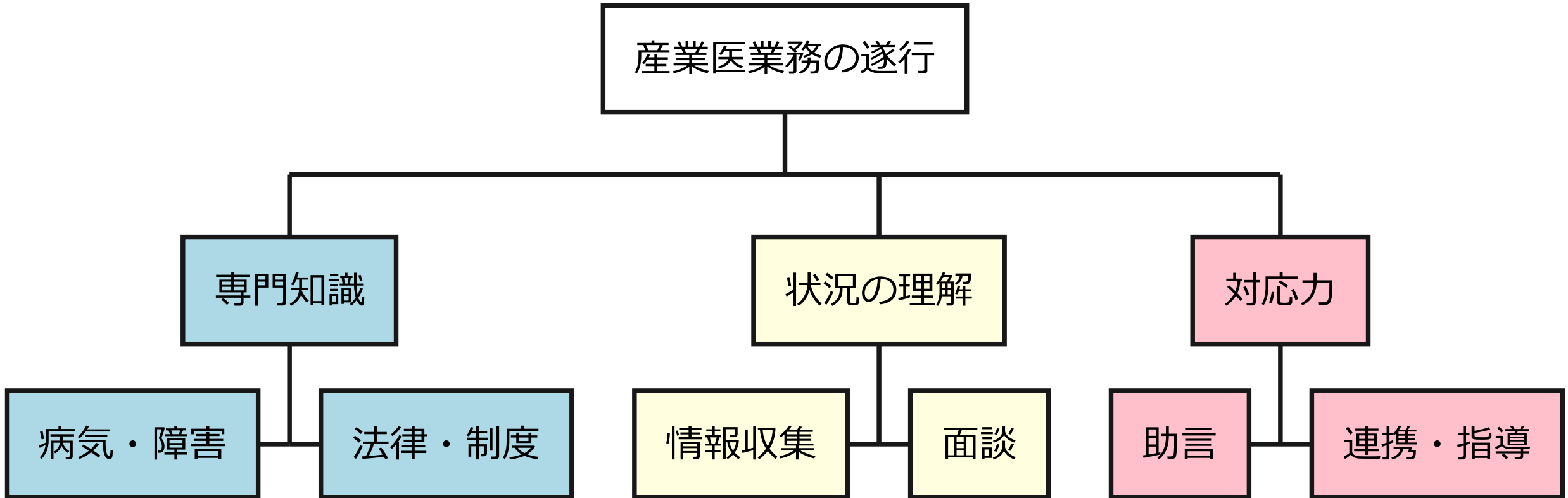
困ったとき・迷ったときのスキルセット

- 「クイズミリオネア」をまねて
 - 50-50(fifty-fifty)
 - オーディエンス ←カンファレンス・コンサル
 - テレフォン・レター ←外部の専門家と連携

原則・原点に立ち返る（特に困ったとき・迷ったとき）

- 医師としての原点・良心
 - 人に会う・話を聞く
 - 主治医の診断書だけではだめなのか・何のために会社に医師が必要なのか
- 「配慮」「甘やかし」の範囲
 - どこまでが合理的な配慮となるかは、会社、文化、社会、時代などの環境要因と、病状、職務など個体要因によって常に異なる・変化する
- そもそも「知らない病気は診断できない」
 - 「臨床」は患者の主訴に従えば正解が見えるが、産業医学はそうもいかない
 - 普段から「できること」をやる姿勢
 - 調べてみます・聞いてみます・手紙書いておきます





質疑・感想・まとめ🍒 具体的に何？

- 知った・気づいた・印象に残った・きょうから取り入れる
- ○誰かに伝える 🌻
- ✕気づき・学びがあった ✕興味深かった ✕わかりやすかった



YouTube ▶はじめました

- おクスリちゃんねる💊医者も知らない新常識🍒

